



©Kawashima Kotori

CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY 1985-2015

秋山忠右 ● 秋山亮二 ● 芥川仁 ● 浅田政志 ● 荒木経惟 ● 新正卓 ● 有元伸也 ● 飯島幸永 ● 石内都 ● 石川直樹
 石川寛 ● 石川真生 ● 石川竜一 ● 井津達郎 ● 井上隆雄 ● 井上博道 ● 今森光彦 ● 岩合光昭 ● 宇井眞紀子 ● 上田義彦
 潮田登久子 ● 内山英明 ● 梅佳代 ● 海野和男 ● 榎並悦子 ● 江成常夫 ● 大石芳野 ● 大西成明 ● 大西みつぐ
 大山行男 ● 尾仲浩二 ● オノデラユキ ● 金村修 ● 亀山亮 ● 川島小鳥 ● 川田喜久治 ● 鬼海弘雄 ● 菊池哲男 ● 北島敬三
 北野謙 ● 木之下晃 ● 久保田博二 ● 熊切圭介 ● 蔵真墨 ● 操上和美 ● 栗林慧 ● 桑原史成 ● 児玉房子 ● 小林紀晴
 小林のりお ● 小松健一 ● 西條嘉吉 ● 齋藤康一 ● 坂田栄一郎 ● 桜井秀 ● 佐藤信太郎 ● 佐藤時啓 ● 志賀理江子
 篠山紀信 ● 柴田敏雄 ● 島尾伸三 ● 嶋田忠 ● 清水哲朗 ● 下瀬信雄 ● 十文字美信 ● 白川義員 ● 白鳥真太郎
 菅洋志 ● 鋤田正義 ● 鈴木清 ● 鈴木理策 ● 須田一政 ● 瀬戸正人 ● 平寿夫 ● 高井潔 ● 高木こずえ ● 高砂淳二
 鷹野隆大 ● 竹内敏信 ● 竹沢うるま ● 武田花 ● 立木義浩 ● 田沼武能 ● 田原桂一 ● 田村彰英 ● 築地仁 ● 土田ヒロミ
 百々俊二 ● 内藤正敏 ● 中井精也 ● 長倉洋海 ● 永坂嘉光 ● 長島有里枝 ● 長野重一 ● 中野正貴
 中藤毅彦 ● 中村征夫 ● 名越啓介 ● 橋橋朝子 ● 西野壮平 ● 蛭川実花 ● 野町和嘉 ● 野村佐紀子 ● 芳賀日出男
 BAKU斉藤 ● 橋口譲二 ● 長谷川健郎 ● 秦達夫 ● 英伸三 ● ハービー・山口 ● 林典子 ● 樋口健二 ● 広川泰士 ● 広田尚敬
 深瀬昌久 ● 藤岡亜弥 ● 藤本巧 ● 藤原新也 ● 古屋誠一 ● 平敷兼七 ● 星野道夫 ● 細江英公 ● 本城直季
 ホンマタカシ ● 前川貴行 ● 真島清秀 ● 増田彰久 ● 松本徳彦 ● 水越武 ● 水谷章人 ● 宮古市 ● 宮崎学 ● 宮澤正明
 宮本隆司 ● 三好和義 ● 六田知弘 ● 本橋成一 ● 森住卓 ● 森村泰昌 ● 森山大道 ● 八木祥光 ● 山内道雄 ● 山口勝廣
 山崎博 ● 梁丞佑 ● 横須賀功光 ● 横田大輔 ● 吉村和敏 ● 米田知子 ● 林明輝 ● ルーク・オザワ ● 鷲尾倫夫

(五十音順)

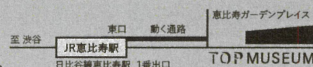
表1. 土田ヒロミ 鳥取砂丘、シグナス(新・砂を敷く)より 表4. 川島小鳥 未来ちゃん

※展覧会及び関連事業は、やむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。
 ※会場混雑時にはご入場をお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。

恵比寿ガーデンプレイス内

東京都写真美術館
 TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
 tel. 03-3280-0099 www.topmuseum.jp
 JR恵比寿駅東口より徒歩約7分。
 東京メトロ有楽町線恵比寿駅より徒歩約10分。
 当館には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。



JPS70

TOP MUSEUM



©Tsuchida Hiroshi

CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY *1985-2015

日本写真家協会創立70周年記念

日本の現代写真 1985-2015

2021年3月20日[土・祝] — 4月25日[日]

開館時間: 10時—18時 *入館は開館の30分前まで 休館日: 毎週月曜日

観覧料: 一般1000(800)円/学生・65歳以上800(640)円 *1)内は20名以上の団体料金

*高校生以下、および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料

主催: 公益社団法人日本写真家協会 後援: 文化庁 共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

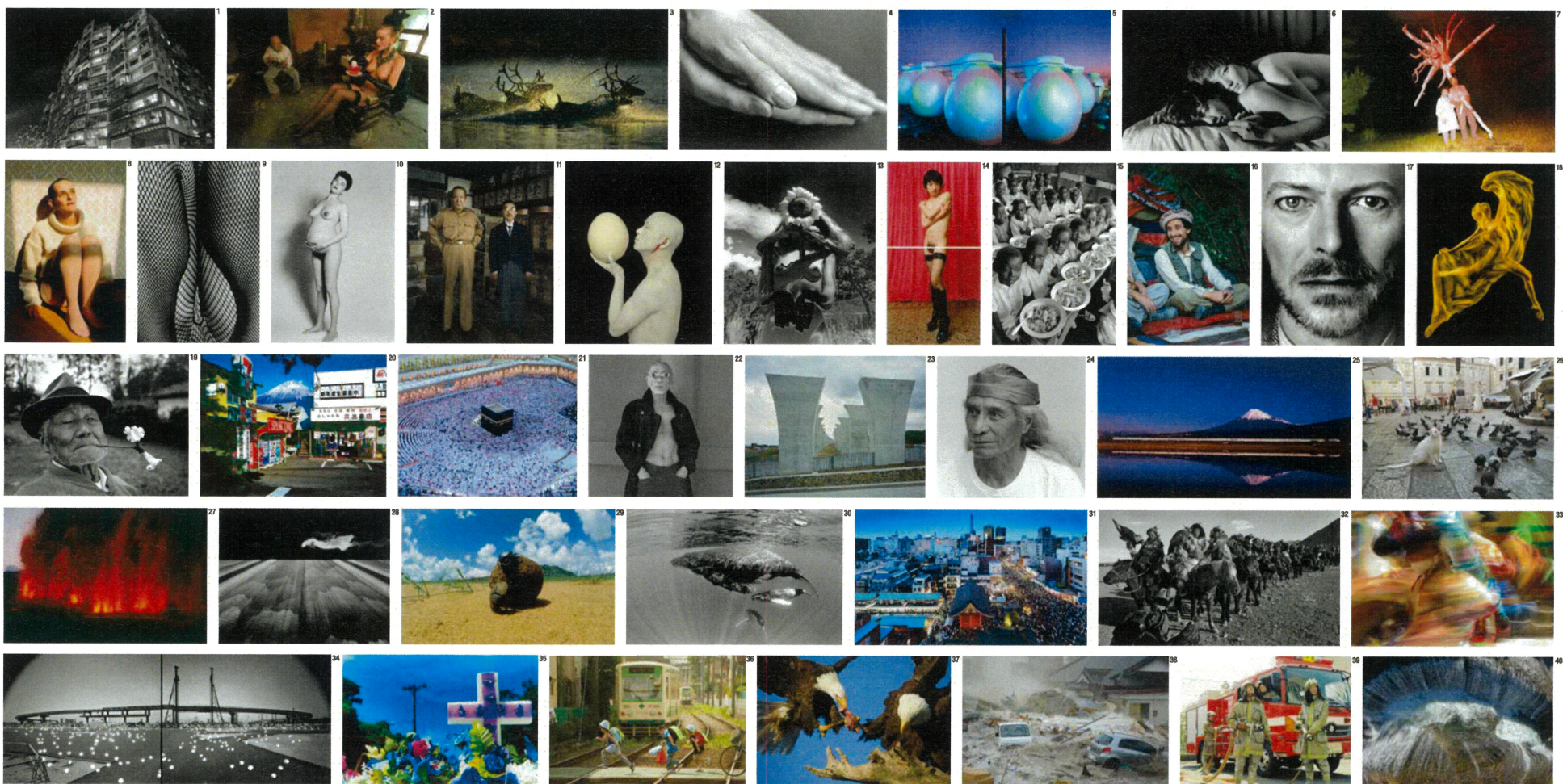
特別協賛: キヤノンマーケティングジャパン(株) 凸版印刷(株) ㈱ニコン ㈱エコーイメージングジャパン

富士フイルムイメージングシステム(株) ㈱パナソニック (五十音順)

M
 東京メトロ有楽町線
 THE FUTURE IS ART
 文化でつながる。未来をつなぐ。
 Tokyo Tokyo
 FESTIVAL

地下1階展示室

TOP MUSEUM



CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY * 1985-2015

日本写真家協会創立70周年記念「日本の現代写真1985-2015」

日本写真家協会(JPS)は、創立70周年の節目に、写真史「日本の現代写真1985-2015」の編集と写真展を催すことにした。過去に刊行した、「日本写真史1840~1945」、「日本現代写真史1945~1970」、「日本現代写真史1945~95」に続く4冊目の写真史であり、フィルムからデジタルへと表現手段が変化したこと、写真を取り巻く環境が劇的に変化した直近の30年を総括する企画である。

本展では編集対象とする30年を、第1期：1985年~1994年、第2期：1995年~2004年、第3期：2005年~2015年と10年ごとの3期に分類した。

第1期の時代は、経済の拡大とともに、世界的にグラフィジャーナリズムが最も栄えた時代と言える。次いで第2期で特筆すべきことは、2000年頃から急速に進んだデジタルカメラの性能向上により、フィルムカメラからデジタルへの切り替えが始まったことである。第3期になると、デジタルカメラの進

化は著しく、機種が更新される度に性能は格段の進化を遂げ、世界で流通するカメラがデジタルに切り替わり、日本製デジタルカメラが世界市場を席巻した時代でもあった。

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界はいま未曾有の危機に直面している。未知の世界と触れることで刺激を受け、作品を創り続けてきた多くの写真家が、かつて経験したことのない困難に直面させられている。写真を取り巻く環境が激変し、更に加速してゆくこの時代に、この30年間に活躍した写真家152人の代表作を選び、総括しておくことは日本の写真史にとっても、大変意義のあることと考える。

どのような時代になろうとも、世界を、森羅万象をしっかり見つめると、そして何よりも写真の底力を信じることで、写真家は時代を乗り越えてゆくのである。

野町和嘉

公益社団法人日本写真家協会会長

- 宮本隆司 九龍城砦
- 篠山紀信 1988 Tokyo
- 星野道夫 夕暮れの極北の河を渡るカブリ
- 石内都 1・9・4・7 #8
- 田村彰英 夢の光
- 野村佐紀子 裸ノ時間
- 志賀理江子 開欄の肖像
- 古厩誠一 Venezia, 1985
- 森山大道 下高井戸のタイツ
- 横山和夫 Carol Ohmura, 1988
- 森村春昌 なにものかのレクイエム (恵の来客 / 1945年日本)
- 上田義彦 AMAGATSU, 1990
- 細江美公 ひまわりの歌
- 鷹野義大 マリア #2, 「tender pennia」29
- 田沼武能 無料給食が「楽しみで学校に通う子ら
- 長谷洋海 村人にお茶をご馳走になり談笑するアフガン抵抗運動の指導者マード
- 篠田正浩 David Bowie "X"
- 白鳥真太郎 Yellow B.
- 新正立 産み落とされた国・南米移民一世の肖像
- 藤原新也 世界軍士
- 野町和嘉 メッカ高礼
- 鬼海弘雄 舞踏家
- 広川善士 BABEL ORDINARY LANDSCAPES #4
- 坂田隆一郎 エディンバラ、自然保護活動家
- 上田義彦 富士山と新幹線「日本→日本→x2」
- 岩谷光昭 ビデオ2才
- 竹内敏樹 三原山噴火
- 柴田敏雄 グランド・クーラーダム
- 今泉光彦 アフリカタマゴシゴガネのペア
- 中村征夫 ザトウタジラのファミリー
- 佐藤信太郎 東京 | 天空橋
- 清水哲朗 BURGED
- 竹沢ひろみ コルラ
- 佐藤時彦 光一呼吸 #145
- I. Ii, Koto-ku, Aomi, 1992
- 鮎川英花 永遠の花
- 中井精也 下町ドラム
- 前川貴行 争うハントウジ
- 西條祐吉 襲来
- 浅田政志 浅田家「消防士」
- 林明輝 ドローン(魚眼レンズ)で追った吹雪の滝